

January 2007



Nippon club of the Triangle  
**NEWSLETTER**



Vol.17 No.1

**[Contents]**

- 2007 Activity Plan
- Club News
- 2006 Activity Report
- Editorial

**2007年の主な活動予定**

- 17回日本クラブピクニック/総会：4/5月
- 日米大学選抜野球大会：夏季
- 夏祭り盆踊り大会：7/8月
- International Festival：11月
- 餅つき大会：12/1月

**CLUB NEWS**

**日本クラブ新規登録 / 更新のお願い**

当クラブは皆様のメンバーシップ（無料）によって支えられています。今年からすべてのメンバーシップの登録および更新はオンラインとなりました。新規登録の方はもちろん、従来からメンバーの方も、お手数ですが下記のウェブにアクセスし、新規として登録をお願いします。アドレスは <http://nct.clubexpress.com> です。なおオンライン登録ができない方は(919)787-6233 岩島までご一報ください。郵送にて登録書類を送付させていただきます。

**2006年度会計報告**

内容	入	出	残
2005年より繰越			\$7,669.29
収入			
寄付	\$313.00		
食品売上	\$8,043.00		
経費		\$7,720.71	
2007年へ繰越			\$8,304.58

## 日本クラブ オンライン・サービス

-日本クラブ：[triangle\\_nippon\\_club@yahoo.com](mailto:triangle_nippon_club@yahoo.com)  
-日本クラブのホームページ：[trianglejapanclub.org](http://trianglejapanclub.org)  
-日本クラブの掲示板（メーリングリスト）：  
[trianglejapan@yahoogroups.jp](mailto:trianglejapan@yahoogroups.jp)  
-メーリングリスト参加：  
[trianglejapan-subscribe@yahoogroups.jp](mailto:trianglejapan-subscribe@yahoogroups.jp)  
-メンバー登録・更新：<http://nct.clubexpress.com>  
<同好会>  
-トライアングル太鼓triangleitaiko@yahoo.com  
ホームページ：<http://www.triangleitaiko.org/>  
-トライアングル茶の湯：[trianglechanoyuclub@yahoo.co.jp](mailto:trianglechanoyuclub@yahoo.co.jp)  
ホームページ <http://blogs.yahoo.co.jp/trianglechanoyuclub/>

## 2006年の活動報告

### 16回日本クラブピクニック/総会

16回日本クラブピクニック/総会が4月29日、NCジャパンセンターで行われました。参加者全員で片付けをした直後に、嵐のような雨に見舞われました。日本クラブの行事は常に晴れという伝統は守られたようです。

### 第一回七夕お盆の夕べ

7月15日、とうとう当地でも初めての「盆踊り」が開催されました。375人も参加があり大盛況で、今までシャーロットにはあるのに、ラーレイでなかったのが不思議なくらいでした。

「キュッキュキュのQ それ!」「はぁー、月がでたであ...」まだ耳元で聞こえてくるようです。

Fayetteville から「楓会」の有志の皆さんが応援に駆けつけて踊ってくださいました。さすが、手さばき、足さばきの見事さに、しばらくは皆さん見とれていましたね。ゆかたの帯を締めてくださったジニーさん、ありがとうございました。

また大好評だった「かき氷」を担当してくださった、Duke 大学ビジネス・スクールの皆さんご苦労様でした。

七夕作り、屋台の食べ歩き、お茶クラブによる茶の湯など楽しかったですね。

リサさんの歌もすてきでした。

それまで2ヶ月の特訓をこなした補習校有志14人による子供盆太鼓も忘れられません。

みんなで作ったお祭りでした。

七夕飾りはその後も数日間、ジャパンセンターの玄関先で、風に吹かれていました。中にはこんな短冊もありました。

- 元気な赤ちゃんが生まれますように
- 英語がうまく話せるように

日本クラブのホームページ <http://trianglejapanclub.org/> で写真が見られます。

反省会では、食事のクーポンを買うところで長蛇の列ができご迷惑をおかけした、かき氷のシロップが足りなかった、焼きソバはもっと早くから作るというなどの指摘がありました。お気づきの点や、こうしたらいいというようなアイデアをどしどしメールで [triangle\\_nippon\\_club@yahoo.com](mailto:triangle_nippon_club@yahoo.com) まで送ってください。今後の、企画に役立てたいと思います。

## 日米大学選抜野球の応援

7月25日 Durham Bulls 球場にて日米の大学野球オールスターのゲームが開催されました。

試合に先立ってその前日には、我々日本クラブとNCジャパンセンターの主催で日本チームの歓迎レセプションがジャパンセンターの裏庭でもたれました。選手およびコーチたちは、典型的な南部スタイル・ポークバーベキューで精をつけ、おまけに夜食としておにぎりや味噌汁までおみやげとしてもらい大満足の体でした。

翌日の試合当日には当クラブが地域日本人コミュニティーに働きかけ、約200人の大(?)応援団を送り込みました。それだけでなく選手入場の際は、21人の日本人の子供たちがオールスターの選手たちとひとりひとり手をつないで入場、ラーレイ在住の山本ユリさんの「君が代」斉唱に合わせて選手たちと一緒に大声で歌いました。試合が始まるとすぐチャペルヒル在住のアヤカさんがバッターボックスに入る選手の名前を読み上げましたが、そのあともタクヤ君、ショー君、ユウキ君、ヒロキ君など日本語補習校高学年のトライアングル地区の子供たちが当日のアナウンサー役を交代で立派に担当してくれました。日本チーム応援席では全員が赤白のポスター・ボードを太鼓の合図にあわせて掲げ「日の丸」をつくりましたが、それも球場の大スクリーンに見事に映されていました。(写真は日本クラブのウェブ [trianglejapanclub.org](http://trianglejapanclub.org) を見てください)

## 2006 インターナショナル・フェスティバル

11月4日と5日の2日間 Dorton Arena で開催され、日本グループは、Cafe、Demo/Culture、Center Stage に参加しました。2日間で参加して下さったボランティアの人数は、なんと126名でした。本当にありがとうございました。

12月4日に行われたエスニックグループのリーダーが集まった反省会では、今年のフェスティバルは分散していた会場が一箇所になり参加しやすかったし、ステージも食べながら見られるという利点などがあげられました。各グループの売り上げも、金曜日が開催されなかったにもかかわらず、昨年同様の収益があったし、開催者側からは4年ぶりに黒字に転じたと報告がありました。次回に向けて、日本クラブからは、民族衣装をまとったパレードがあるといいと提案しました。来年の2008年には、改築後の Raleigh Convention Center で行われることになりました。

### Cafe

2日間でCaféの客数は620人でした。特に忙しかった土曜日の午後は、1時間当たり45人から55人が訪れています。毎年恒例のメニュー、焼きそば、お寿司、抹茶アイスクリームなどに加えて、今年は牛丼を新メニューとして加えましたが、初日の夕方には予定していた2日間分が完売という大ヒットでした。寿司シェフとしては、ボランティア6人が日本食レストラン「わらじ」で事前に、オーナーの辻村さんからカリフォルニアロールの一日講習を受けました。会場では、カウンター越しに半天と鉢巻の粋な寿司シェフ姿が見られました。(日本クラブウェブサイトのPhoto セクションをご覧ください)

また、ボランティアとしてラーレー日本語補習校の生徒さんたち(現地校ではHigh School に在籍している)42名が参加してくれました。カウンターでは臨機応変の対応、キッチンでも手際のいい仕事振りを見せてくれました。迎えに来た親御さんが、「わが子が皆さんと協力し合って、こんなにいきいきとしている姿をしているなんて」と、陰からそっと見ている姿が印象的でした。

### Culture/Demonstration

今年は折り紙とゆかた着付けと日本語名前書きを実施しました。カルチャー・デモンストレーションの日本のブースは、前日になって急遽会場一番奥のステージ横に移動されるというハプニングがありました。例年、日本ブースは人気があって人だかりになるので入り口近くでは人の流れが滞ること、日本ブースの魅力で来場者を遠くまで誘導したい、というのがその理由でした。実際2日間とも、ボランティアをした方々は息をつく暇もないくらいに忙しくしていました。折り紙の作品や、筆で書かれた名前等を持った子供達の写

真が、N&O紙に大きく掲載されていたのを覚えていらっしゃいますか。

企画・準備の段階から何日もかけて関わってくださったボランティアの方々、ありがとうございました。今回もトライアングル地区のみならず、遠く Wilson, Greenville, Fayetteville, Greensboro から参加してくださいました。また、ご夫妻でボランティアに参加される方が増えたのもほほえましい現象です。

### Center Stage

トライアングル太鼓グループが担当しましたが、2日間ともが一番客数の多い時間帯の3ステージが指定されました。出し物は13人が汗を流しながら演奏する勇壮な「三宅太鼓」を中心としたものになりましたが、舞台にしがみついている子供達が印象的でした。浅草の老舗に特注したそろいのハッピーがひととき映えていました。さっそく誰かが Youtube にビデオ映像を登録してくれました。

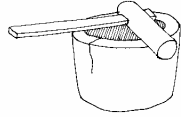


\*最後に忘れられない出来事がありました。チャペルヒル・ダーラム日本人会の男性役員の方々が総出で、フェスティバルの後片付けと搬出をかってでてくれたことです。お蔭様で会場からスムーズに撤去することが出来ました。ありがとうございました。

### 餅つき大会

(ロード 千代子)

ラーレーに移って来て始めて参加させていただいた”年末餅つき会”でしたが、豚汁、お餅、よもぎ餅、それに何種類ものたれ、あんこなどこちらの日本食レストランではまず食べられない日本の味で舌鼓みを打って食べました。特に、お餅は機械でなく臼と杵でついたもので、さすがにのどごしや舌ざわりなど懐かしい感じがしました。大人も子供も重い杵を持ち上げて伝統的な餅つきを体験していました。日本にいてももはやなかなか体験できなくなっているのではないのでしょうか。私はボランティアとして食事準備のお手伝いをしましたが、何人かはその場で飛び入りで参加してくれましたし、「来年も」というお申し出まで戴きました。来年も更に楽しく和気あいあいと出来ればいいと思います。



\* ロード千代子さんはご一家でNYのロングアイランドからラレーに移ってこられました。ご主人様のKevinさんとお二人のお子様4人家族です。トライアングル茶の湯クラブのメンバーとしても活躍中です。餅つきの前日は、同じ茶の湯クラブの山岸さんと、朝から豚汁の仕込みをしてくださいました。9ガロンの豚汁も、当日はあっという間になくなってしまいました。ありがとうございました。

## 同好会2006年活動報告

### <トライアングル太鼓> (Rocky 岩島)

創立後5年経ちましたが、2007年1月現在25名のメンバー（日本人7名、アメリカ人18名）が太鼓を一緒にたたき喜びを体験しています。昨年10月にはついに直径2尺7寸の大太鼓が加わり、それまでの中小サイズの太鼓と合わせて保有太鼓数は16台になりました。日米文化交流を図る地域コミュニティ活動としては、各地域のインターナショナル・フェスティバルや障害者アート・フェスティバルや学校訪問など、なんと昨年1年間で40回の公演をこなしたことになります。さらに日本クラブ主催の盆踊り大会向けには、補修校の14人の元気な子供たちを「子供太鼓」として指導しましたが、皆さんから喝采をあげました。我々の趣旨に賛同してくださり太鼓購入用にと\$5,580をご寄付頂いた各団体には深く感謝いたしております。

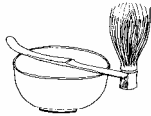
Triangle Taiko Homepage: <http://www.triangletaiko.org/>  
Email address: [triangletaiko@yahoo.com](mailto:triangletaiko@yahoo.com).

### <トライアングル茶の湯クラブ> (北村千香)

私たちのクラブは、RTP地区に住む皆さんで茶の湯を楽しみ、またお手前のデモンストレーションのボランティアなど茶道を通して地域へ日本の文化を紹介していくことを目的としています。2003年秋に発足し、現在メンバー総勢20名となりました。何よりの基本はメンバー自身が茶道の習得をしていくことで、それぞれ経験年数や流派などは違って、毎週木曜日午前中ラレーのメンバー宅にあつまり、楽しくお稽古をしています。月1回は着付けのお勉強もかねて、着物を着てお稽古をすることにしています。

昨年度は、地域の学校、病院などのイベント、夏には Raleigh にある体験型ミュージアム ( Exploris ) でのサマーキャンププログラムへの参加、デュークガーデンで行われたひな祭り茶会など、約 20 回の茶の湯デモンストレーションを行いました。こうすることで茶の湯のこころを地域の人たちと分け合うことが経験できたように思います。

昨年春にはブログ



<http://blogs.yahoo.co.jp/trianglechanoyuclub> (日本語のみ) を立ち上げ、毎週のお稽古活動の記録やデモンストレーション活動の記録などを残すようにしました。

ご興味のある方は、まずは見学にいらっしゃいませんか？ 連絡先は、[trianglechanoyuclub@yahoo.co.jp](mailto:trianglechanoyuclub@yahoo.co.jp)

## Editorial

### 私の「茶の湯」

ナンシー・ハミルトン

茶道は日本のカルチャーそのものを理解する窓であると言われていています。当初、私がこのことを聞いたときには、あまりに単純化された表現のように感じてそのまま信じる事ができませんでした。しかし茶道について知れば知るほど、その感が強くなってきています。それでもまだ「だれでも茶席に参加さえすれば日本のカルチャーを体験する事ができるが、それだけの理由でこんなに魅せられるのかしら」と少し疑問も持っています。茶席に出て感じるのは日本のカルチャーだけでしょうか、それともそれを超えた何か普遍的なものなのでしょうか。いったい何が茶道の魅力なのでしょうか。

私にとって茶席は日本の印象そのものを思い出させてくれるかけがえのないものです。ああ、タタミの甘い匂い、お茶碗に触れたときの感触、茶せんが縁にあたるコツンという音、点てられたばかりのお茶の宝石のようにきらきら光る泡、それが唇に触れた時のやわらかい味、最後に静かに煮立っていたお湯に水がそそがれ静寂が戻り、お点前はおわります。この感覚は私の日本での楽しくかつ感動的だった経験を思い出してくれます。

茶道で使われる道具や回りの茶席で使われるものは全て日本の芸術的な工芸品ばかりです。床の間にかざられる掛け軸や生花、手作りの容器類 ( 茶碗、水入れ、菓子器、花瓶 )、細かな竹細工 ( 茶せん、茶さじ、柄杓 )、息を飲むような漆製品 ( 棗-ナツメ )、絶妙な織物、繊細にすかれた紙、など後をたちません。



また、茶席で使われるこのような道具類は全て、私達と自然との 関わり合いを想いおこしてくれます。大地（粘土）、火（炉）、木（竹）、金（漆塗り上の金粉）、水（もちろん）そして私達の生命です。また厳選されたお茶そのものは大地の恵みをそのまま揉みほぐされたものです。ある友人はこのような茶席の体験をまるで自然を飲み干しているようだと言っていました。

茶席で客人と集う時は、お互いに茶を点て合います。ただ飲み物をつくるだけなのに、どうしてこんなに茶席の場や道具に神経を使い、このような美しくも難しい作法が必要になるのでしょうか。これが日本のカルチャー体験なのでしょうか。私は形としてはまさにその通りと思います。それだけでなくお客をもてなす場として茶席を設けることで、自分自身、場、そして相手との関係を一番純粹無垢なものとして歓待することになるのです。これが日本人のカルチャーなのでしょうか。確かではありませんが、私はこれがその素晴らしさの一面だと思っています。



## Up coming Schedule

- Annual Meeting/Picnic: Late spring
- Obon Matsuri
- USA-Japan collage all-star baseball game
- International Festival: November
- Mochitsuki

### Newsroom

Yoko Iwashima  
yokoiwashima@hotmail.com